

第 371 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 3 年 5 月 11 日 (火) 11:00~12:40
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Anchor Night
[放送日時] 令和 3 年 4 月 5 日(月)19:00~20:30
[出演者] ユーコ・タケダ
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康 委員 小野晃司
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治

[会社] 代表取締役社長 今井学
制作本部長 杉山啓充
編成事業本部長代理 安田信章
制作本部制作担当部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 新編成開始状況の件

6. 番組審議

[対象番組] K-mix Anchor Night
[放送日時] 令和 3 年 4 月 5 日(月)19:00~20:30
[出演者] ユーコ・タケダ
[番組内容] オンからオフの切り替えに、ユーコ・タケダが心地よいトークと音楽をお届けします。

[聴取・合評での主な意見]

小野委員

番組構成が良い。ユーコの喋りもとても落ち着いていて心地よい。プロ意識の高さ、新番組への意気込みを感じる。選曲がややリクエスト頼みで、その多寡で番組の深みが変わってきそう。今後の楽しみである。

加藤委員

はっきりとした構成で、コンセプト通りの内容が来ている。音楽番組として、どの方向に行くのかが今後の課題だろう。選曲は、個人的にはハマった。フリートークは、もう少し軽やかさがあっても良いかもしれない。エピソードトーク程度の軽さがあってもいいだろう。

服部委員

ユーコは低めのトーンでゆったりゆっくり話していて、コンセプトが徹底している。しかしずっと同じトーンなので、やや間延びして聞こえる。ニュースの紹介も、少し本数が多いと感じた。全体としては「歌」をじっくり聴かせてくれ、良い印象だ。

角田副委員長

番組ブログを拝見したが、担当 AD の頑張りをを感じる。またユーコの努力もとても強く感じる。選曲も懐かしくて好感をもったが、少し疲れてしまった。同世代には受けるが、番組の裾野を広げるためには、選曲コンセプトを日によって変えるのも良いかもしれない。ユーコには、リスナーと同じ目線に立っての「共感力」が更に必要だ。上からではなく、下からの目線。曲の説明も含め、若いリスナーへの丁寧さが必要だ。喋り初めの英語フレーズも、無くしていいのではないかな。

木宮委員長

選曲に関しては、SNS など確認しても概ね高評価だ。しかし毎日良い曲をかけ続ける事の大変さが今後出てくるかもしれない。また現状、アンカーというよりはパーソナリティ的だ。ニュースや出来事に対し自身の意見が求められるのがアンカーではないか。まだまだ、自分を抑えている印象。今日の放送に限っては、ユーコでなくても成立する番組、という気がした。フリートークでのマッサージの話は、情報がアップデートされておらず、古い。「自身の経験が全て」という悪い傾向がでてしまったのは、今後の課題。知らないことを知らないという立ち位置で話せるかが、今後のポイントだと感じた。

会社サイド

前回(第 370 回)ではテンポの良さや楽しさそうな雰囲気の評価頂いた一方、落語家としての個性が出ていない点などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和 3 年 6 月 1 日 (火) 11:00~13:00 を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信

